

国立山口徳地青少年自然の家 教育事業
「徳地アドベンチャープログラム」指導者講習会

平成 29 年 1 月 7 日（土） ～ 1 月 9 日（月祝）

【ねらい】 「徳地アドベンチャープログラム」(以下, T A P) の実習や講義を通して, 高め合う集団作りに必要な人間関係の構築や自己肯定感の向上を目的としたグループワークにおいて指導者に求められる知識・技能を習得する。

【期 日】 平成 29 年 1 月 7 日（土）～9 日（月祝） 2 泊 3 日

【参加者】 22 名（男性 16 名 女性 6 名）

グループ A（指導経験が少ない）



心構えの確認からアイスブレイクに入ります。



グループの体験をもとに夜は指導者視点のふりかえりを行います。



様々なアクティビティ体験を数多く行いました。



最終日はハイレメントを体験しました。



グループ B（指導経験が多い）



全体でのアイスブレイクからグループに分かれて課題解決を行います。



グループの体験をもとに活動の意図の確認や活動が適切だったか等を協議します。



グループ体験をもとに、ケーススタディとして半日の活動案をグループで作ってみました。



最終日は活動案を発表し、その後エレメントの分析（要素、良さの書き出し）を行いました。



【参加者の声】

- 非常に深い学びを得ることができた。実際の活動の場にも戻って活かしていきたいと思う。
- 以前受けた指導者講習会と内容・質ともに違ってさらに勉強になった。
- GRABBSS やシークエンス等について学びを深めることができた。

【成 果】

- ワークシート（活動案を作るためのシート）をもとにファシリテーションについて協議したことは、グループの高まりや手立てが視覚的に共有され、活発な意見交流を行うことができた。
- 指導経験の差でグループ分けを行ったことで、「体験を増やす」「活動案を作る」等、習熟度に合わせた内容設定をすることができた。

【課 題】

- 指導者視点のふりかえりを入れるタイミングと回数の吟味及び事前準備の徹底。

【今後の展望】

- 次年度に向けて参加者のニーズにこたえるための研修会及び講習会の企画。